青葉区スマート防犯灯モデル事業

第 1 回 住民体験説明会

■開催概要

日時　：令和 8 年 7 月 11 日（土）13：00～14：00

場所　：奈良地区センター　小中会議室

参加者：地域住民　約 20 名

■実施内容

・開会あいさつ・趣旨説明・出席者紹介

・スマート防犯モデル事業の説明

・スマート防犯灯・見守りタグ・見守りシステムの説明

・質疑応答

・見守りタグ申込フォーム配布

・アプリインストール・使い方体験

■質疑応答の内容　（モデル事業＝スマート防犯モデル事業、タグ＝見守りタグ）

Q.　タグの電池が切れてしまった場合はどうなりますか？

A.　事業期間中に電池が切れてしまったなどの場合は、新しいものを無償で提供させていただきます。なお、電池持ちの短いストラップ型でも 1 年半は電池がもつ計算ですので、モデル期間中は問題なく使用いただける予定です。

Q.　モデル事業の終了後は、横浜市全体に取組が展開されますか？

A.　モデル事業終了後の展開については、アンケート等で事業の効果検証をさせていただき検討いたします。

Q.　モデル事業実施にあたり増えた防犯灯は、終了後撤去されますか？

A.　防犯灯は、灯具は違うものになるかもしれませんが、終了後も継続して防犯灯を設置します。

Q.　防犯カメラの映像の取扱いは、岩崎電気株式会社と横浜市どちらが行いますか？また、取扱いに関するルールは出ていますか？

A.　防犯カメラは、主に犯罪の抑止を目的として設置するものであり、取得した映像の常時監視は行いません。

　取得した映像は横浜市が管理し、映像に関する権限および帰属は横浜市にあります。なお、防犯カメラの維持管理やシステムの運用については、岩崎電気株式会社が行います。

　また、横浜市では防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインを定めており、現在、運用に係る要綱を作成しています。防犯カメラの運用は、要綱の策定及び公表後に開始する予定です。

Q.　タグのストラップ型とカード型に性能の差はありますか？

A.　性能の差はありません。違う点は、電池の寿命のみです。

Q.　スマート防犯灯はそのものが通信機能を有しているのですか？

A.　防犯灯 200 台の中 1 台のみが通信機能を有しているものになります。他の防犯灯は Bluetooth のようなネットワークでつながっています。

Q.　個人情報の管理についてどういった対策をとっていますか？

A.　セキュリティ対策については横浜市のセキュリティ協議を経たものとなっており、個人情報についても横浜市が厳重に管理しています。また、個人情報とタグの経路情報は別に管理しており、経路情報から個人を特定するような情報に紐づかないため、過去の履歴等誰がどのようなルートを通ったという情報は漏洩しません。

Q.　ネットワークは、インターネットか、閉域網ですか？

A.　インターネットです。

Q.　防犯カメラについて、河川カメラのように不正アクセスの恐れは無いですか？

A.　不正アクセス対策として不用意なポートを開けないなどの対策をとっています。

Q.　終了時期は令和９年９月ということですが、９月末までということですか？

A.　９月末までです。

Q.　モデル事業は南区と青葉区で実施されますが、同じタグを２区の実施地域で使用できますか？

A.　使用可能です。

Q.　岩崎電気株式会社が他の自治体で同様の取組を始めたら、そちらでも使用可能ですか？

A.　見守りシステムは横浜市でモデル的に運用するものであり、他市では実施していません。なお、将来他の自治体で導入された場合は、協議によりますが、情報保護の観点等を踏まえ自治体内のみで利用できるように運用する予定です。

Q.　タグの電源はどこでオンオフできるのですか？

A.　タグの電源は最初からオンになっています。オフにする場合は、アプリから切り替え可能です。

タグを持つお子様等が誤って電源をオフにしてしまうことを防ぎます。